



HIKVISION

ネットワークビデオレコーダー

バージョン 4.0

簡易操作マニュアル

第一章 基本説明

1.1.1 筐体

1.1.2 DS-7600NI シリーズ

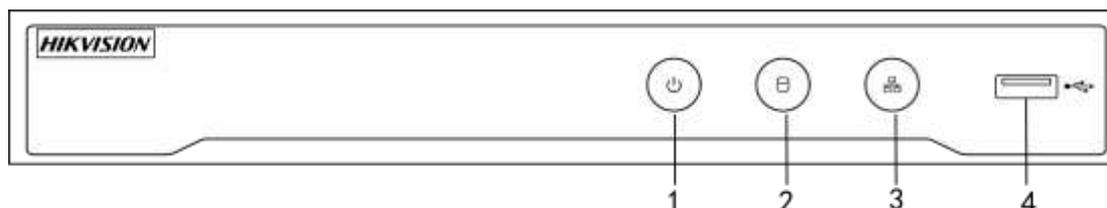


図 1-1 DS-7600NI シリーズ

表 1-1 パネルの説明

番号	名称	説明
1	POWER	デバイスの電源が入ると、緑色に変わります。
2	HDD	HDD からデータを読み書きするときには赤色で点滅します。
3	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能しているときは青色で点滅します。
4	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ(HDD)など、追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス(USB)ポート。

1.2 USB マウス操作

通常の 3 ボタン（左/右/スクロールホイール）USB マウスもこのデバイスで使用できます。USB マウスを使用するには：

手順 1 USB マウスをデバイスのフロントパネルの USB インターフェイスの 1 つに差し込みます。

手順 2 マウスが自動的に検出されます。まれにマウスが検出されない場合、2 つのデバイスに互換性がないことが考えられます。メーカーの推奨するデバイスリストを参照してください。

マウス操作：

表 1-2 マウス制御の説明

名称	操作	説明
左クリック	1回クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● ライブビュー：チャンネルを選択して、クイック設定メニューを表示します。 ● メニュー：選択して入ります。
	ダブルクリック	ライブビュー：シングルスクリーンとマルチスクリーンを切り替えます。
	クリック & ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> ● PTZ コントロール、パン、チルト、ズーム。 ● ビデオタンパリング、プライバシーマスク、動体検知：対象エリアの選択。 ● デジタルズームイン：ドラッグして対象エリアを選択します。 ● ライブビュー：チャンネル/タイムバーをドラッグします。
右クリック	1回クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● ライブビュー：メニューを表示します。 ● メニュー：現在のメニューを終了し、上の階層のメニューに戻ります。
スクロールホイール	上スクロール	<ul style="list-style-type: none"> ● ライブビュー：前の画面。 ● メニュー：前の項目
	下スクロール	<ul style="list-style-type: none"> ● ライブビュー：次の画面。 ● メニュー：次の項目。

1.3 デバイスにログイン

1.3.1 ロック解除パターンでログイン



- 管理者ユーザーだけがデバイスをロック解除する権限を持ちます。
- ロック解除する前に、パターンを設定してください。**エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。**を参照してください。

手順1 画面上でマウスを右クリックしてメニューを選択し、インターフェイスに入ります。

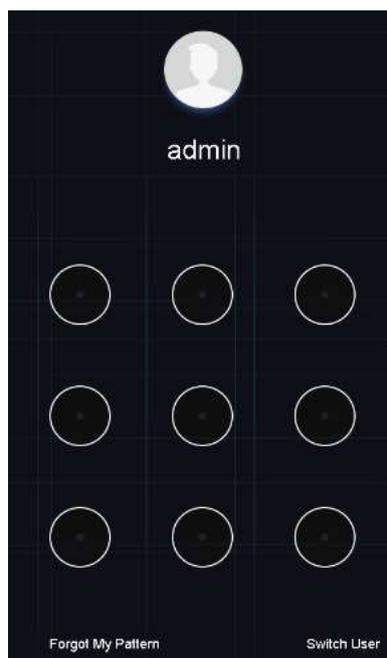


図 1-2 ロック解除パターンの描画

手順 2 事前設定したロック解除パターンを描いて、メニュー操作に入ります。

 NOTE

- パターンを忘れた場合には、**[パターンを忘れた]**または**[ユーザー切り替え]**オプションを選択すると、通常のログインダイアログボックスに入ることができます。
- 設定したパターンと異なるパターンを描いた場合には、再試行してください。
- 間違ったパターンを 6 回以上描くと、システムは自動的に通常のログインモードに切り替わります。

1.3.2 パスワードでログイン

目的:

デバイスからログアウトしている場合、メニューおよびその他機能进行操作する前に、デバイスにログインが必要です。

手順1 ドロップダウンリストで**[ユーザー名]**を選択します。

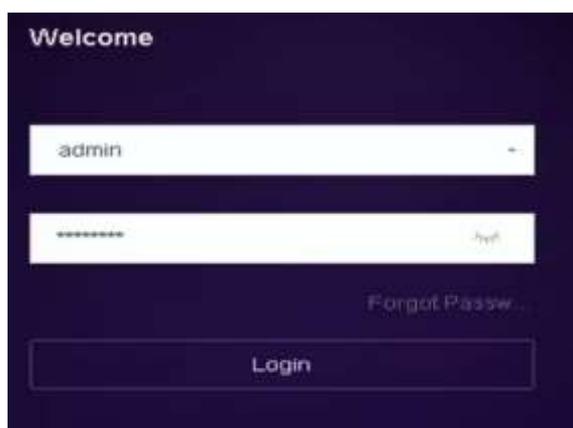


図 1-3 ログインインターフェイス

手順2 パスワードを入力します。

手順3 **[OK]**をクリックしてログインします。

NOTE

- 管理者パスワードを忘れた場合には、**[パスワードを忘れた場合]**をクリックして、パスワードをリセットしてください。
- ログインダイアログボックスで、間違ったパスワードを7回入力すると、現在のユーザーアカウントは60秒間ロックされます。

1.4 メインメニューに入る

ウィザードが完了したら、画面を右クリックしてメインメニューバーに入ることができます。メインメニューとサブメニューの説明については、次の図と表を参照してください。



図 1-4 メインメニューバー

表 1-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	ライブビュー
	再生
	ファイル管理
	スマート解析
	カメラ管理
	ストレージ管理
	システム管理
	システムメンテナンス :

第2章 ライブビュー

ライブビューでは、リアルタイムで各カメラから取得した映像を見ることができます。

2.1 ライブビューの開始

メインメニューバーの  をクリックして、ライブビューを開きます。

- ウィンドウを選択して、リストからカメラをダブルクリックすると、選択したウィンドウでカメラからビデオを再生できます。
- 再生ウィンドウ下部のツールバーを使用して、キャプチャー、簡易再生、オーディオのオン/オフ、デジタルズーム、ライブビュー画面構成、情報の表示、録画の開始/停止などができます。

2.1.1 デジタルズーム

デジタルズームはライブ映像を拡大します。さまざまな比率（1～16倍）に映像を拡大できます。

手順1 ライブビューモードで、ツールバーから  をクリックして、デジタルズームインターフェイスを開きます。

手順2 スライダーを動かす、またはマウスホイールをスクロールして、映像をさまざまな比率（1～16倍）で拡大/縮小することができます。



図 2-1 デジタルズーム

2.2 ライブビューレイアウトの設定

手順1 [システム]>[ライブビュー]>[ビュー]の順にクリックします。

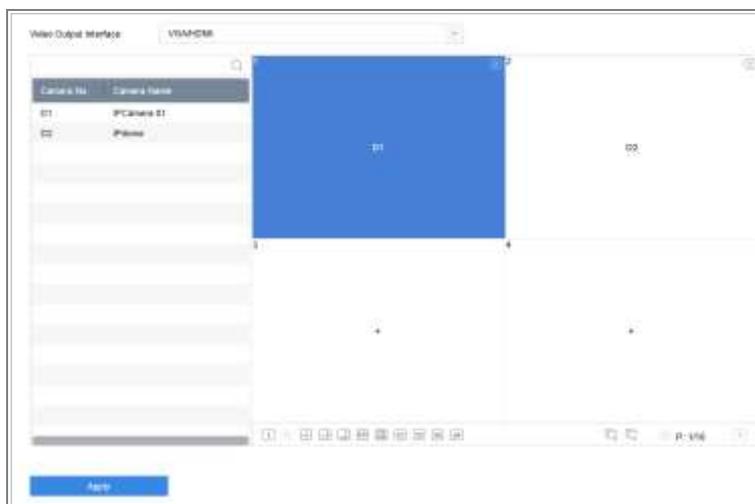


図 2-2 ライブビュー

手順2 ビデオ出力インターフェイス（HDMI/VGA、チャンネルゼロなど）を選択します。

手順3 ツールバーからウィンドウ分割モードを選択します。

手順4 分割ウィンドウを選択して、リストからカメラをダブルクリックして、カメラをウィンドウに設定します。

テキストフィールドに番号を入力すると、リストからカメラをすばやく検索できます。

NOTE

カメラをライブビューインターフェイスの希望のウィンドウにクリック&ドラッグして、カメラの順番を設定します。

関連操作：

-  ボタンをクリックして、すべてのチャンネルのライブビューを開始します。
-  をクリックすると、すべてのライブビューが停止します。

手順5 [適用]をクリックして、設定を保存します。

第3章 PTZ コントロール

3.1 PTZ コントロールウィザード

開始前

接続された IP カメラが PTZ 機能をサポートし、正しく接続されていることを確認してください。

目的

PTZ コントロールウィザードが、基本的な PTZ 操作を案内します。

手順 1 ライブビューインターフェイスのクイック設定ツールバー上にある  をクリックします。下図のように、PTZ 制御ウィザードが表示されます。



図 3-1 PTZ コントロールウィザード

手順 2 ウィザードに従って、PTZ ビュー、フォーカス、カメラのズームを調整します。

手順 3 (オプション) [このプロンプトを再表示しない]を選択します。

手順 4 [OK]をクリックして終了します。

3.2 PTZ プリセット、パトロール、パターンの設定

開始前:

プリセット、パトロール、パターンが PTZ プロトコルでサポートされていることを確認してください。

3.2.1 プリセットの設定

目的：

手順に従って、イベント発生時に PTZ カメラを向けるプリセット位置を設定します。

手順1 ライブビューインターフェイスのクイック設定ツールバー上にある  をクリックします。

手順2 PTZ コントロールパネルの方向ボタンを使用して、プリセットを設定する位置にカメラを動かします。ズームとフォーカス操作もプリセットに記録できます。

手順3 ライブビューの右下にある  をクリックして、プリセットを設定します。



図 3-2 プリセットの設定

手順4 ドロップダウンリストからプリセット番号 (1~255) を選択します。

手順5 テキストフィールドにプリセット名を入力します。

手順6 **[適用]**をクリックして、プリセットを保存します。

手順7 さらにプリセットを保存するには、手順2~6を繰り返します。

手順8 (オプション) **[キャンセル]**をクリックして、プリセット位置情報をキャンセルします。

手順9 (オプション)ライブビューの右下にある  をクリックして、プリセット済みの設定を表示します。



図 3-3 設定済みのプリセット表示

3.2.2 プリセットの呼び出し

目的：

この機能を使って、イベント発生時にカメラを窓などの指定位置に向けることができます。

手順1 ライブビューインターフェイスのクイック設定ツールバー上にある  をクリックします。

手順2 ライブビューの右下にある  をクリックします。

手順3 ドロップダウンリストからプリセット番号を選択します。

手順4 **[呼び出し]**をクリックして、これを呼び出します。



図 3-4 プリセット(1)の呼び出し

または、ライブビューの右下にあるをクリックして、呼び出す設定済みプリセットをクリックします。



図 3-5 プリセット(2)の呼び出し

第4章 録画データ抜き出し

4.1 全ファイルの検索とエクスポート

4.1.1 ファイルの検索

目的

ビデオや画像を検索するための、詳細な条件を指定します。

手順1 **[ファイル管理]** > **[すべてのファイル]**に進みます。

手順2 時間、カメラ、イベントタイプなどを含む詳細な条件を指定します。

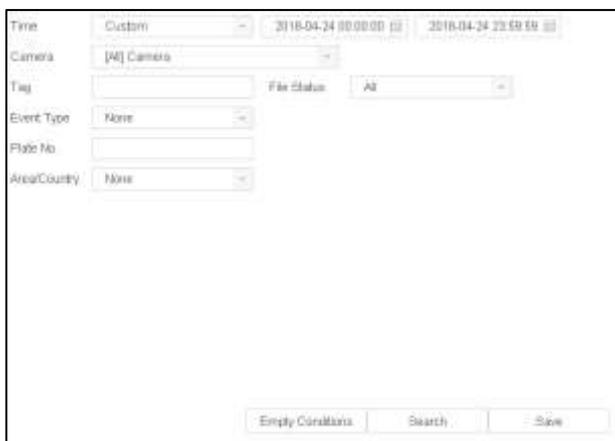


図 4-1 すべてのファイルの検索

手順3 **[検索]**をクリックして、結果を表示します。一致したファイルが表示されます。

4.1.2 ファイルのエクスポート

目的

USB デバイス (USB フラッシュドライブ、USB HDD、USB 光ディスクドライブ)、SATA 光ディスクドライブ、または eSATA HDD を使用して、バックアップ目的でファイルのエクスポートします。

手順1 クリックしてファイルを選択して、**[エクスポート]**をクリックします。

手順2 **[ビデオとログ]**としてエクスポートするファイルを選択し、**[OK]**をクリックします。

手順3 **[OK]**をクリックして、ファイルをバックアップデバイスにエクスポートします。

第5章再生

5.1 ビデオファイルの再生

5.1.1 通常映像の再生

手順1 **[再生]**に進みます。

手順2 **[チャンネル]**リストから単数または複数のカメラを選択して、映像再生を開始します。

手順3 カレンダーで日付を選択します。

● 再生インターフェイス下部のツールバーを使って、一連の操作の再生や実行を制御します。5.2 再生の操作 8.2 章を参照してください。



図 5-1 再生インターフェイス



図 5-2 再生ツールバー

● 複数チャンネルの同時再生を実行するチャンネルをクリックします。

NOTE

256 倍速の再生速度をサポートします。

5.2 再生の操作

5.2.1 スマート/カスタムモードでの再生計画の設定

目的:

スマートまたはカスタムビデオ再生モードでは、通常ビデオとスマート/カスタムビデオの再生速度を個別に設定することも、通常ビデオをスキップ選択することもできます。

スマート/カスタムビデオ再生モードの場合には、をクリックして、再生計画を設定します。

- [通常ビデオを再生しない]をオンにすると、デバイスは通常ビデオをスキップし、スマート（動体/ラインクロス/侵入）ビデオとカスタム（検索ビデオ）のみを通常速度(X1)で再生します。
- [通常ビデオを再生しない]がオフの場合、通常のビデオとスマート/カスタムビデオの再生速度を個別に設定することができます。速度範囲は X1～XMAX です。

NOTE

シングルチャンネル再生モード中のみ、速度の設定が可能です。

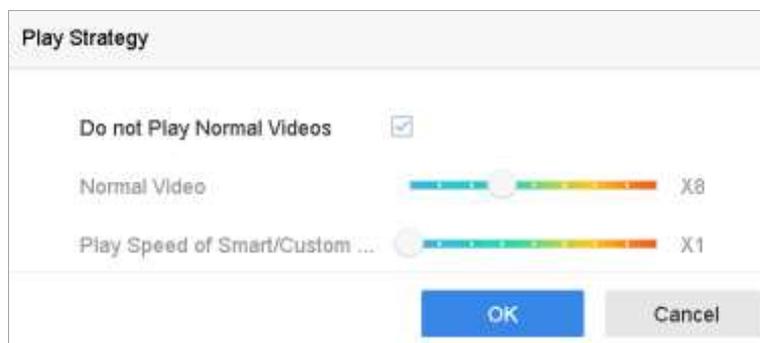


図 5-3 再生計画

5.2.2 ビデオクリップの編集

再生中にビデオクリップを取得し、クリップをエクスポートできます。

ビデオ再生モードで、をクリックして、ビデオクリップ操作を開始します。

- : ビデオクリップの開始時間と終了時間を設定します。
- : ビデオクリップをローカルストレージデバイスにエクスポートします。

5.2.3 サムネイル表示

再生インターフェイスのサムネイル表示を使用すると、タイムバーで必要なビデオファイルを簡単に見つけることができます。

ビデオ再生モードで、マウスをタイムバーに移動してビデオファイルのプレビューサムネイルをプレビュー表示します。



図 5-4 サムネイル表示

必要なサムネイルをクリックして、全画面再生を入力します。

5.2.4 高速ビュー

マウスを押したままタイムバーの上にドラッグすると、ビデオファイルが高速表示できます。

ビデオ再生モードでは、マウスを使用して再生タイムバーを押したままドラッグすると、ビデオファイルを高速表示できます。

必要な時点でマウスを放すと、全画面再生が始まります。

5.2.5 デジタルズーム

ビデオ再生モードで、ツールバーから  をクリックして、デジタルズームインターフェイスを開きます。

スライダーを動かす、またはマウスホイールをスクロールして、映像をさまざまな比率（1～16倍）で拡大/縮小することができます。